人穴小 学校だより
ふれあい

令和2年8月27日
富士宮市立人穴小学校
第4号
ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標『自らをきたえ　共に生きる子』

「成長の多い２学期に…」

校長　柏木　武文

例年になく短い夏休みが終わり、２学期がスタートしました。まだまだ、残暑が厳しい日が続きそうですが、学習、生活、行事などあらゆる面で、子供たちがさらに成長できる学期になることを期待しています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、８月17日（月）の始業式では、子供たちに次のような話をしました。

２学期に学校に来る日は９１日間の予定です。１年間で一番長い学期です。それだけに、勉強も運動も、皆さんの力が一番伸びるときだと思います。そこで、皆さんに２学期にがんばって欲しい三つのポイントをお話しします。今年、皆さんにがんばろうといつも話しているキーワードは「自尊・他尊・共存」でしたね。今日はそこに近づくためにどんなことをめあてにしたらよいかというお話です。

一つ目「自尊」のためには「じぶんのとくいをつくる」ことです。「これには自信がある」「これはがんばっている」ということをつくろうという意味です。もうとくいがある人は、より磨きをかけてください。まだ無いという人は是非自分のとくいをつくってください。人と比べるのではなく、自分が胸をはってがんばっていると言えることが大切です。

二つ目「他尊」のためには「みんなのよさをみつける」ことに挑戦してください。「あの人にはこんないいところがある」「あんな素敵なところがある」というようなことを見つけられるようになってください。一人ではなく、一つではなく、できるだけたくさん見つけられることが大切です。

三つ目「共存」のためには「じぶんのきもちをつたえる」ことです。思ったり考えたりしているだけでは、なかなか相手には伝わりませんね。自分の思いを相手に上手に伝えることは協力の第一歩でもあります。学習のときにも大切な力になりますね。

この三つのめあてに向かってがんばると、皆さんの姿が「自尊・他尊・共存」のキーワードにますます近づくと思います。是非、２学期に取り組んでみてください。

２学期は勉強や運動に一番集中できる学期です。また、例年とは異なる形にはなりますが、運動会や学習発表会などの行事もできる限り実施していく計画です。子供たちが多くのことにどんどんチャレンジできるよう、一緒に目標を立てるなど、声かけをしてあげてください。学校でも、がんばりを認め、ほめることで子どもたちを伸ばしていきたいと思います。「自ら進んでチャレンジする姿」「自分の取り組みに自信をもつ姿」がたくさん見られる２学期にしたいと思います。

８月６日（木）に「学校と地域のつどい」第１回運営委員会と、ＰＴＡ全体会を行いました。コロナウイルス感染症拡大防止のために、なかなか会合を行うことができず、今年度最初の会合が、このような時期となってしまったことを、大変申し訳なく感じています。

当日は、ご多忙中にもかかわらず多くの方にお集まりいただきました。学校と地域の合同運動会、学校と地域のつどい、その他のＰＴＡ関連の行事についての貴重なご意見をいただきながら、方向性を明確にすることができました。多くの方に参加していただき、顔を合わせてお話ができたことを何よりも嬉しく感じました。本当にありがとうございました。今後も、地域との連携を核として人穴小の特色ある学校経営を進めていきたいと思います。宜しくお願いいたします。